



# 地域を活かした学習活動を展開する同窓



森支会  
(森小学校)  
高橋 伸夫

青葉ヶ丘とオニウシの二つの公園に隣接し、秀峰駒ヶ岳を望む本校は、噴火湾を挟んで羊蹄山を始めニセコ連峰、室蘭市の白鳥大橋を眺めることができず。また、本校地域は、地理、経済、文化面で森町の中心をなし、町内会の自治活動や子供会活動、各種少年団活動が活発に行われています。平成十七年四月には砂原町と合併し、今まさに活況を呈している町です。

地域の方々も、創立百二十九年の伝統を誇る本校への愛着と関心は高く、多方面に渡り協力的です。その一つに、地域と関係機関が連携し、登下校時の子供たちの安全を見守るスクールガードリーダーや交通指導員による交通安全指導があります。

児童は、地域に温かく見守られて素直に育ち、文化面、体育面での活躍も目立っています。しかし、体験重視の必要性が求

められる今、恵まれた自然環境や施設を利用した学習に力を入れています。四季を通し公園をフィールドにして展開する学習。夏は快適な学校プール、冬は三角山やグリーンピア大沼スキー場を利用した学習が盛んです。また、ストーンサークルの発見で脚光を浴びている、鷲ノ木遺跡群を活用した社会科の学習にも力を入れています。

さらに、子供のニーズに応じた特別支援教育の充実にも全校を挙げて取り組んでいます。

その中核をなしているのが、運上雅夫校長をはじめ、古村正明、福士悦子、田名部直、阿部優子、佐山香、上村美紀子、櫻田紀子、中田和久、北村紀子、黒澤優子、佐郷谷晶子、氏家美佐、松橋尚子、佐々木好美、伊藤史人、沼昌宏、北畑貴裕、鈴木悠太、村上沙耶、高橋伸夫の夕陽会の面々です。他の職員と力を合わせ、瞳輝く森小の子供達に、全力で取り組んでいます。

## 職員室

### 「同窓の絆を深めながら」



七飯支会幹事長  
(峠下小学校)  
西谷 さおり

『千の風になって』の誕生の町七飯町は、そのさわやかな風が吹く風光明媚な大沼国定公園のある自然豊かな町です。また、今年はこの七飯の町から川田龍男男爵が男爵薯をこの世に送り出してからちょうど百年を迎えます。自然と歴史豊かな七飯町には小学校八校(大中山、七重、鶴野、藤城、峠下、大沼、軍川、東大沼)、中学校三校(大中山、七飯、大沼)、七飯養護学校、七飯高等学校があります。そして、一〇四名の現職会員が「これからの社会を心豊かに、たくましく生きる子ども」の育成を目指して日々力を尽くし、それを二一五名ものOBの方々を支えてくださっています。今回は、これらの学校の中から峠下小学校について紹介させていただきます。

峠下小学校は明治十三年に開校し、

旧校舎の面影を残しつつ平成四年に新校舎となりました。現在の校舎は、校舎全体に明るい光が降り注ぎ、校門前から続く広々とした花壇に囲まれる美しい造りとなっており、「花と光の峠下」として地域の方々に親しまれる存在となっています。そして、地域と連携して行われる合同運動会、国道五号線沿いのサルビアの花の植栽、交通安全レター作戦、秋の収穫祭等の様々な活動が行われます。「地域の一員として心豊かに生きる子どもを育む特色ある教育活動の推進」が、峠下小学校の学校運営の柱です。

また、この峠下小学校では教職員を力強くリードする大和田正人校長の下、六名の夕陽会員が活躍しております。企画力溢れる木村浩則教諭、教務として調整力抜群の石川朋実教諭、個を生かす指導に徹する宮川学教諭、的確な事務処理で職員を支える寫谷聡子事務職員という夕陽会員が峠下小学校の教育のために、それぞれの力を存分に発揮しています。これからも峠下小は、同窓の絆を深めながら、「子どものために」を合い言葉にチームワークよく、新しい時代の教育に挑む学校創りに真摯に取り組んでまいります。

支会だより

同窓の絆



長万部支会長  
(中の沢小学校)  
高野 雅文

渡島半島の最北に位置する長万部町は、道南の交通拠点の町です。JR長万部駅は、函館本線と室蘭本線の分岐点ですし、道央自動車道長万部ICや国道五号線国道三七号線の合流点でもあります。

また、長万部町というと、かじめし等は特に有名ですが、それ以外にも手軽な登山コースの写万岳や規模は小さくなく、まいましたが学術的にも貴重な静狩湿原等大変自然にも恵まれた町でもあります。そこで見られる野鳥の種類も多く、川ではほぼ一年を通して小サギや青サギが見られます。

そのほかにも、長万部温泉や二股ラジウム温泉もあり、ホタテや毛ガニそして町の花のヤマメをアレンジしたキャラクター「まんべくん」は、毛ガニ祭りや町民運動会「ふれあいオリピック」等町内で行われる各

種イベントに登場して雰囲気盛り上げています。

教育に目を転じると、東京理科大学の長万部キャンパスがあり基礎工学部の一年生が一年間ここで学んでいます。

長万部高等学校と長万部中学校の「長万部町連携型中高一貫教育」が進められています。

今年度の長万部支会の会員数は、長万部中学校八名、長万部小学校五名、共立小学校二名、静狩小学校一名、国縫小学校四名、中の沢小学校三名、長万部高等学校一名、合計二十四名(七月末現在)となっております。例年よりも少し遅れて七月十一日に土谷敬本部副幹事長様・竹内良容渡島支部長様の出席を得て本年度の総会を行いました。

今年度の運営計画は、①会員の同窓意識の高揚に努める。②会員相互の助け合いを大切にす

る。③会員相互の研修に努める。④会員相互の情報交換を活発にする。⑤本部・支部との情報交換に努める。以上五点です。このようなことを中心に会員相互の懇親を図るとともに同窓の絆を深め、活動の活発化を図っています。

支会だより

魅力ある町で活動する



松前支会長  
(松城小学校)  
飯田 正典

北海道最南端の町、松前町は豊かな自然に恵まれた町です。晴天の日には、津軽海峡の対岸に津軽半島がくっきりと見え、その後方には悠然と構えた岩木山、そして、日本海にぽっかり浮かぶ大島と小島の景観、そこへ落ちる夕日の美しさ、鮪や鮑などの新鮮な魚介類も大変豊富です。

また、何百年という歴史を刻む中で、道内唯一のお城を構え、春に咲き続ける約二百五十種類、一万本の桜の名所として知られるなど歴史と文化の町でもあります。現在、先人が築かれた伝統をさらに発展させるべく、漁業を中心とした産業の活性化や未来を担う人づくりなど町ぐるみで町おこしに取り組んでいるところです。

平成二十年度、夕陽会松前支会は総勢二十三名の会員をもつてスタートし、七月一日に今年

度総会・懇親会が行われました。当日は依田教育長様にも来賓としてご列席いただき、また、大変遠いところ、橋田会長と竹内支部長のお二人に直々に足を運んでいただき、会も大いに盛り上がりました。

先日は、松前が生んだ書家であり、夕陽会の大先輩でもある金子鷗亭先生の生誕百年を記念しての石碑、「北鷗碑林」が完成し、その記念式典が町内外の皆様方多数参列の下、盛大に行われました。町でも現在、一般対象の「書道講座」が定期的に行われ、今年は今町小中学生対象の「書道教室」を各学校を会場に開催する予定もあり、「書の町」へ向けての事業も着々と進められています。

このように町挙げての新しい試みとこれまでの歴史・文化が融合している松前町は、ここに住むものにとって魅力ある町でもあります。今後は、町の良さを享受しつつ、会の目的である会員相互の親睦をさらに深め、夕陽会本部並びに渡島支部との連携を図りながら、諸事業を推進して参りたいと思います。

# 新会員だより

ありがたき同窓

「夕陽会」



五稜支会  
(渡島教育局)  
永澤 篤

卒業後、渡島管内で十三年間の教員生活を過ごし、その後、教育行政に就いて今年度で八年目となりました。

この仕事に就いてから、いろいろな土地で勤務しましたが、どの勤務地でも、多くの同窓の方々にお世話になりました。

地元を離れて知らない土地で仕事をするには、多くの不安がありました。初めて暮らすその街で、それまではまったく知らない先輩に、ただ「同窓」ということだけで助けていただき、夕陽のありがたさを痛感したものです。

教員時代を含め、三度目の渡島管内の勤務になりますが、改めて、生まれ故郷、母校のある街で仕事ができる喜びを感じております。恩返しができるのであれば、精一杯頑張ること。力を尽くしますので、よろしくお願いたします。

同窓のありがたき



五稜支会  
(渡島教育局)  
永井 貴之

五年ぶりに渡島に戻りましたが、勤務していた当時、お世話になった先生が多く、大変心強く感じています。

日高や胆振にいた時にも、同窓の先輩に大変お世話になり、教員の時には、あまりにも身近で気付かなかった「同窓のありがたき」を実感しました。

これまで、教えていただいたこと、励ましていただいたことをこれからは、後輩に伝え、「恩返し」ができるようにしていきたいと考えています。

とはいえ、これからもきつと、助けていただくことの連続になるような気がしています。ですから、甘えるだけではなく、「支えられている自覚」だけを、せめて失うことのないように、自分を戒めたいと思います。今後とも、どうぞ、よろしくお願いたします。

たくさんの先輩・後輩に

かこまれて



五稜支会  
(渡島教育局)  
吉田 昌幸

生まれも育ちも函館の私が、八年間の教員生活を胆振管内で過ごし、現在、社会教育主事として渡島教育局にこの四月から勤務しております。平成十三年に道南に戻り、ふるる函館、ネイパル森での勤務の際にもたくさんの先輩や後輩、ときには母校の現役学生に施設ボランティアとしてお世話になり、大変心強く感じております。

夏には、大学時代のゼミの恩師や現役学生、先輩らと食事をする機会があり、そこでも話題になりました。大学時代の機能やカリキュラム等の変更に、その後、函館校出身の教員は激減することでした。実態を学生から生の声で耳にする改めて少し寂しい気持ちになりました。

しかし、一方で、学生たちはボランティア活動や街おこし、地域貢献といった活動に興味をもっている者も多いと聞き、現在の私の仕事内容と関係した部分が多く、後輩たちを応援したい気持ちにもなりました。

現在、私は社会教育という学校から離れた教育活動に関わり、ボランティアやPTA活動、地域活動などで、先輩・後輩、現役学生にお会いしている仕事が出来よう努めて参りたいと思います。今後とも、よろしくお願いたします。

## 「教師の喜び」



北斗支会  
久根別小学校  
七尾里実

大学を卒業し、久根別小学校で教壇に立つてから、早くも半年以上が経ちました。久根別小での毎日は、私の人生で最も充実している日々でした。授業中に一生懸命に考える姿、ケンカする姿、反省する姿など児童の元気に必死に生きる姿と毎日向き合い支援できることの喜びを、日々感じていきます。子どもは、非常に吸収が早く、良いことも悪いこともどんどん学びます。私は、児童の成長の早さに感動すると同時に、「成長に見合う学びを提供できているのか」、「悪いことをした時にどう納得させるか」など指導の仕方に試行錯誤しています。教師の難しさ、やりがいを実感する毎日です。

これからも、先輩方から多くのことを吸収して日々成長していくように思います。どうぞよろしくお願ひします。

## 「学校の先生」



北斗支会  
上磯中学校  
西崎綾

三月に大学を卒業し、この四月から上磯中学校で英語の補助教員として働く機会を得ました。まだ正採用ではありませんが、「学校の先生」としての第一歩を踏み出すことが出来ました。

中高時代の友人に会うと、必ず「今何やってるの?」と聞かれます。「学校の先生。」と答える度に、教師になれた喜びと、大きな責任を感じています。

学校での生活にもなれ、充実した毎日を過ごしていますが、生徒との関わりの中で、悩むことも多くあります。しかし、たくさん先の先輩方に指導をいただき、日々課題を持ちながら、子どもたちにチャレンジしていくことで、少しずつ解決をしています。

これからも、自分を高め、子どもたちの成長のために全力でがんばっていきます。ご指導よろしくお願ひします。

## 「教師として」



七飯支会  
大中山小学校  
那須桃子

三月に函館校を卒業し、七飯町立大中山小学校に赴任してから約半年が経ちました。

毎日が新しい事の連続であり、正直、一日一日をこなしていくのが精一杯という半年間でした。しかしそのような中でも、周囲の先生方から学ぶべきことは非常に多く、必死で吸収しようという気持ちで過ごしています。

また、子ども達を見ていると、学校生活のあらゆる面で日々成長が見られる事に驚かされます。子どもにとつての一日とは本当に貴重なものと、改めて実感しています。子ども達の日が充実したものになるかどうかには、教師が大きく影響するという事を忘れず、精進していきたいと思います。

未熟な身ですが、温かく見守ってくださる先生方に感謝しながら切磋琢磨していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

## 「初心」



八雲支会  
落部小学校  
落宰公人

この度、八雲町立落部小学校に赴任して、早くも半年が過ぎました。毎日元気な子ども達とともに学び、先輩の先生方から支えられ、充実した日々を送っております。

先日、授業の展開について悩んでいたところ、先輩の先生から「最初から全てうまくいくなんて考えないで、色々やってみなさい」という言葉をかけられました。いつも子どもに言っているような言葉ですが、言われる立場となって、忘れかけていた初心を取り戻した気がしました。模索しながらも、何事も楽しく、しっかりと子ども達と向き合っていく。そんな思いが蘇ってきました。

今後子ども目線、教師目線双方から子どもの成長を考え、私自身も先輩の先生方、地域の方々から学び、教師としても人間としても成長していきたいと思ひます。

「夢が現実になって」



長万部支会  
(長万部小学校)  
石 崎 寿 和

この度ご縁があつて長万部小学校に赴任いたしました。毎日子どもたちのパワーに負けないよう、元氣いっぱい楽しい日々を送っています。

教師となつて半年以上が過ぎました。子どもの将来を見据えた教育に熱意を注いでいる指導を目の当たりにし、先生方からたくさん学ばせていただいております。そして私自身子どもの人生に携わることができこの職業にやりがいを感じています。人生にかかわるからこそ、責任感を持ち、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。

未熟な私を様々な面からご指導してくださる諸先輩方には、深く感謝しております。これからもチャレンジ精神、そして探求心を忘れず、子どもたちと共に学び合い、成長していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いたします。

「子どもたちと共に」



長万部支会  
(長万部中学校)  
成 田 秀 臣

平成十三年三月に卒業してから、七年間後志管内の中学校で勤務しておりました。この度四月から縁ありまして長万部中学校で勤務させていただいております。

後志管内で勤務していた際にも夕陽会の先輩方に恵まれ、多くのことを学ぶことができ、充実した日々を過ごすことができました。そして、長万部に赴任し、夕陽会の会合に参加して改めて夕陽会の結束力や多くの仲間と仕事ができる喜びを感じております。また、生まれ育った渡島に戻つてこれたことを実感し、感謝している次第です。

これからも子どもたちと共に学び、共に成長していけるよう、微力ながら日々精進していききたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



平成20年度「大懇親会・新会員歓迎会」 〈新会員自己紹介〉

# 終身会員

## の聲

### 母校・近況



昭和三十三年卒 一類  
信田 利之

歲月流れる雲の如し、あつと言う間の十二年間。(道通五年、就職相談兼非常勤講師七年)

この場を少しお借りして函館校の近況をお知らせしたい。函館校では、企業・公務員・教員の三コースでキャリア教育・就活等を推進している。既に教員養成課程募集停止して三年、今年の卒業生が最後となる。誠に寂しい限りである。今後は残された教員養成機能を十分に活かし、教員を希望する学生を一人でも多く教育現場に送り出すことが大切な使命と心得ている。

また同窓会の在り方も変容し企業・官庁関係者を包み込んだ新しい形の夕陽会が誕生するものと予測している。

新課程では教員免許関連連単位は選択として扱われるために、教育実習は人間発達専攻コース(3年実習)以外は4年次目となる。そのため採用検査日と教

育実習が重なり(中・高)加えて卒業論文作成もあり学生には過重負担になるので大学当局に是正をお願いしている。

新課程で教員を目指す学生は、教員養成課程当時と比較すると教職科目の履修で手薄になつてゐることは否めない。

そこで学生主体の教育研究会(部活動)を立ち上げ、月二回隔週で外部講師による講演会と学生主体のシャベリ場(集団討論会)を開催し、自ら教師の資質向上に努めている。先輩諸氏の皆さん、実習等で学生が伺つた際には温かく支えて欲しい。

### 表現



昭和三十三年卒 一類  
鈴木 匡

この歳になつて、もう原稿を書くこともないと思ひこんでいたが、小鉾岳から帰宅してみると、この依頼が無い込んでおり、文章書きの苦手な私にとつて、初秋の山の景色の美しさや心地好さはどこかへ飛んでいった感じがする。

さて、退職後、数年経つてから、意を決して市民歌劇合唱団の一員になつたが戸惑うことが多く、悪戦苦闘の日々が続いている。合唱団員ではあるが歌だけではなく、舞台上での演技も要求されている。

歌は楽譜の中に、演技は物語の中に、その場面毎の表現の鍵が隠されているのだろう。しかし、それを読み取つて表現することは非常に難しいものだ。

演技は自分の解釈による日常的表現ではなく、客席から見た時の分かり易さが大切であることが解つた。更に、この歳になつても「人の目」が気になつて、身動きが自由にできない事に気が付いた。

歌や演技の基礎をしつかり学んだ事のない私にとつて、全く新しい世界である。

今年も、いよいよ練習が始まつた。

いろいろな方々と接し、悪戦苦闘しながらも劇が次第に組み上がつていく様子を見てみると気持ちが高揚していくのを感じている。

### 生涯剣道をめざす



昭和三十三年卒 一類  
西田清英

定年後の七年、九年の二年間  
桔梗中と深堀中で初任者研修講  
師（理科）として勤務。任期切  
れを待って、函剣連会長の強い  
勧誘もあり、長年休んでいた剣  
道の稽古再開を決意した。「剥  
離骨折」した左足踵の激痛の再  
発を懸念しての再開である。

稽古中は痛さを忘れて熱中す  
るが終わると激痛が踵から両側  
を通して指先へと走る。予感的  
中である。整形外科医の診察を  
受け医師による痛み止めの注射  
を踵に受ける事となる。一週に  
一度の注射を受けながら連日の  
特訓を受けた。七段合格の目的  
があるから苦しくはない。むし  
ろ楽しいぐらいであった。

十二年春より事務局を受ける  
ことになった。多忙な連日が続  
いた。気の安まる暇さえない。

これだけ気を張っていたら長  
生きすると思ひながらの毎日で  
ある。秋、待望の六段合格。い  
よいよ七段挑戦である。三年間

の修業で七段合格を目指し、汗  
を流す。札幌・東京へも稽古に  
行った。しかし、四年かかった。  
十六年十一月、七段合格。合  
格率九パーセントであった。嬉  
しかった。涙をこらえた。  
思えば三十二歳で始めた剣  
道。母校剣道部員の招きで寒・  
暑稽古に参加し、故・廣川正治  
先生の指導を受けた。稽古中、  
苦しくてあえいでいると、「今  
の稽古は、お遊びですよ！」と  
教えて下さった廣川先生の言葉  
を胸に「命ある限り剣道が続け  
たい」



平成20年度「大懇親会・新会員歓迎会」 〈寮歌大合唱〉

### 終身会員の皆様へ

「平成二十年度 勇退者 激  
励・感謝の会」を次のように開  
催いたしますので、ご案内申し  
上げます。

◎平成二十一年 月十四日（土）  
午後五時より

◎会場 ホテル法華クラブ

◎会費 六千五百円

◎申し込み締め切り  
一月十六日（金）

◎申し込み方法  
同封の葉書にて

### あとがき

※前号に掲載いたしました会務  
報告に一部誤りがありましたので  
お詫びして訂正いたします。

会務報告 訂正

五月二十九日（木）北斗支会  
総会懇親会 本部川島前会長

.....  
ご寄稿下さいました新会員及  
び終身会員の皆様、誠にありが  
とうございました。